

2015年度第4回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2015年10月13日（火） 午後6時30分から
- 2 場所：立川市柴崎学習館 地下 第1教室（立川市柴崎町2-15-8）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：6名
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、平山恵三、堀渡
欠席者：清田義昭、矢崎省三
事務局：鬼倉正敏

4 報告及び協議事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2015年10月7日現在 正会員94名3団体 賛助会員41名1団体 計139名・団体
- ・黒子恒夫顧問が8月1日にご病気で急逝された。他正会員1名死亡退会。

(2) 第2号議案 黒子恒夫顧問の死去について【報告】

- ・総会後の理事会での確認に基づき、ご本人に顧問の継続をお願いし、『多摩デポ通信』第35号で顧問継続を広報した直後の、突然の死去であった。
- ・黒子顧問逝去に伴い、会員への周知および多摩デポ名刺、ホームページ役員一覧等の改訂を行う。

(3) 第3号議案 第23回多摩デポ講座について【報告】

- ・「多摩で35年間、出版社をやってきた一地域に根ざした出版活動について聞くー」
講師：清水定氏（けやき出版会長）を開催した。
- ・日時：9月29日（火）柴崎学習館 第一視聴覚室（地下） 午後7時00分～8時30分
- ・参加者は19名。人数は多くなかったが、「多摩地域の出版社」、「長年けやき出版をやってこられた清水氏のお話」という企画ゆえの参加者がいた。ただし、現役の図書館職員は参加がなかった。
- ・講座のPRが、時間的にも、工夫も足りなかったのではないか。
- ・大変長く社長を勤められ、ご苦慮の末、若い世代の社長に交替を果たしたばかりというタイミングだったので、意義のある講演会となった。

(4) 第4号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・東京都市町村立図書館長協議会（＝「館長会」）の、共同利用図書館構想の再検討プロジェクト（担当；調布市、小池館長）は、今月を目途に、館長会に検討報告書を提出する予定と聞く。・これを受取った館長会側が、どのように判断し動くかが問われてくる。多摩デポでも東京都に対する動きが必要なのではないか。
- ・カーリルと多摩デポは月一回ペースの共同研究定例会を続けている。各館での除籍・保存の判断の前提作業に使いやすいような、システム提示の仕方を準備する必要がある。
- ・夏以来、カーリルが示した多摩地域データの精度について、多摩デポ側は同タイトルを統合検索や各館OPACから手入力の検索で確かめ、違っていればなぜなのかという検証を行なっている。
- ・調布市約550件のデータの検証を8月に行なった結果、カーリルのデータのズレが大きかった。
- ・9/24定例会ではカーリルから、取り直した最新の検索結果が提供された。また多摩デポ側の作業のために、「ISBN、書名、多摩所蔵冊数、都立所蔵有無、備考欄からなるリスト」と「29市町のどの図書館が所蔵しているかが一覧できるリスト」が提供された。

- ・現在、このリストで、都立図書館ホームページの統合検索を使って、事務局員で分担して再調査を行なっている。(10/4 再調査開始 ～ 10/10 事務局会議で中間結果検討 ～10/17 再調査結果締切 10/26 定例会)
- ・まだ分担して作業途中だが、カーリルと同一の結果が得られることが多くなっている。
- ・それとともに、統合検索で得られる結果と各館の OPAC で書名検索などで確かめた結果との違いも見られるようになってきた。東京都の統合検索の問題や各市で作成・付与している書誌データの問題もあると思われる。横断検索の精度・信頼性の課題は、他県でも一部では話題になってきているようだ。これらの問題を、該当の図書館や都立図書館側に指摘する必要もある。
- ・結果違いの数は現時点では多くはないようで、法則性もわからないが、定例研究会で全体結果を分析し、誤りの理由を調査し、さらに改善を図っていくことが重要となる。

(5) 第5号議案 多摩デポ通信第36号について【報告・協議】

- ・紙面予定
 - ・「第23回デポ講座(けやき出版・清水氏講演)の報告」、参加者感想文(入稿済み)
 - ・黒子顧問逝去の告知と関係記事……理事長と山領健二氏(元思想の科学研究会事務局長/多摩デポ会員)が追悼文を執筆予定
 - ・「第24回多摩デポ講座(見学会)」一橋大学経済研究所資料室、の開催を決定し、詳細を広報
 - ・カーリル共同研究の現状報告
 - ・カーリル吉本龍司氏のもうひとつのプロフィールを伝える、総会講演会時の追加原稿
 - ・その他

(6) 第6号議案 今年度の講座・講演会の企画について【報告・協議】

(1) 講座(見学会)

- ・片山善博氏の講座より先に行う。現役職員の参加しやすさのため月曜に開催したい。
- ・一橋大学経済研究所資料室(1964年4月「それぞれの学術分野における専門資料をその部門の適当な研究機関で完全に収集し、これを研究者の共同利用に供する」という日本学術会議勧告に基づき、人文社会科学の全国共同利用施設として発足)
- ・実施日の第1候補 12/14(月)、第2候補 12/21(月) 時間は10～11時または13時～14時

(2) 次回講座案

- ・来年1月以降に、元総務大臣、片山善博氏を講師とし、「図書館への期待、紙の本の意義、多摩デポの活動について」の内容で、大きな講演会を実施する方向で交渉中。
→ 今月中に、可能かどうかの結論を出す。

(7) 情報交換

【多摩デポ論文】

- ・特になし

【共同保存図書館関連論文】

- ・『公共図書館の蔵書構築と共同保存事業—各館書庫からの除籍をどのように進めていくか?』堀渡(『情報の科学と技術』2015年9月号 397p - 403p 同号「コレクション構築の現在」特集の一部) →掲載誌の確認を経て、「多摩デポ」HPへアップを行った。
- ・『情報の科学と技術』2015年10月号にカーリル吉本龍司氏が「データ分析を用いたサービス品質

の管理 —カーリルのデータ分析活用事例から」との論文発表。430p～433p。その中で多摩デポとの共同研究を紹介している。「3-2 多摩地域図書館における資料保存」という節で、18行。

【読売新聞 多摩版コラム「週刊たま手箱」】

- ・読売新聞多摩版に「週刊たま手箱」というコラム欄があり、多摩地域の数グループが執筆している。多摩デポも加わらないかと打診があり、事務局有志で執筆することになり、準備中。

【全国図書館大会】

- ・日程は、10月15日（木）、16日（金）。

【図書館総合展】

- ・日程は、11月10日（火）、11日（水）、12日（木）

物販を担当する書店（B&B）へ多摩デポブックレットの委託販売が可能となる。

- ・スピーカーズコーナーでの発表の時間が与えられた。11月11日（水）11時15分から30分程度。堀理事が、『公共図書館の蔵書構築と共同保存事業—各館書庫からの除籍をどのように進めていくか?』の内容について発表する予定。

【多摩地域公立図書館大会】

- ・2016年2月開催の多摩地域公立図書館大会で理事が講師をする予定。

※文芸春秋11月号（新刊）に「東大『ハイブリッド図書館』の世界戦略」石田英敬著という論文が出ている。東京大学に建設中の新総合図書館での蔵書保存について、電子データと共に現物保存の必要性・意義を明解に論じており注目したい。

- | | | | |
|------------|-----------|-------|--------------|
| ★ 次回の理事会 | 12月15日（火） | 午後6時半 | 立川市柴崎学習館予定 |
| ☆ 次回の事務局会議 | 10月31日（土） | 午後6時半 | 立川市 場所未定 |
| ★ 共同研究定例会 | 10月26日（月） | 午後7時 | 国分寺労政会館3階 和室 |

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と手嶋孝典理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2015年10月13日

議 長 座間 直壯

議事録署名人 齊藤 誠一

議事録署名人 手嶋 孝典